

中部ペンクラブ

第 77 号
 発 行 所
 中部ペンクラブ事務局
 〒464-0067 名古屋市千種区
 池下1-4-17 オクト王子ビル6階B室
 TEL(052)752-3033 F3011
 編集委員長：中 村 賢 三
 製作：(株)総研

第8回シンポジウム 『中部へん』 27号を読み文学を語る

新型コロナウイルス感染症は収束の気配もなく長期化し人々の生活や社会のしくみすら変えようとしている。中部ペンでは総会をはじめ講演会などの活動が中止や延期を余儀なくされてきた。しかし外出や県外への移動自粛が徐々に解除され、公共の会場も使えるようになり、予防などに細心の配慮のもと会議や合評会・読書会



マスクをしてシンポジウムを開催 (愛知芸術文化センターにて)

など各同人雑誌の活動は、小規模ながら6、7月頃から行われてきた。会誌『中部へん』27号も8月に発行し、その掲載作を批評して語り合う恒例のシンポジウムは、9月20日、愛知芸術文化センターで開催された。今回は一般公開としないで会員のみ止め、60名収容の会場に参加者は23名と少なかった。互いに離れた席をとりマスク越しで話し合う会ではあったが、久しぶりに出会い、文学論を交わす何ものにも代えがたい貴重な時間となった。

遠藤 昭己(海)
 そらいくと(果樹園)
 西穂 梓(翔)
 山田 實(弦の会)
 丹羽加奈子(じゅん文学)

司 会 丹羽加奈子(じゅん文学)
 ●第33回中部ペンクラブ文学賞
 受賞作「雲を掴む」藤原伸久
 (パネラー) 西穂梓

○作品は映像的、美しい風景描写を背景にニートの青年と、美女の巫女が出会い、物語が進む。
 ○女は男言葉で話し、男は少し気弱。それでも二人は同じ匂いを感じ、引かれていく。男と女を越えた愛、常套的な愛情物語ではない。

第34回中部ペンクラブ文学賞募集

中部圏(注1)の文学の活性化を図るとともに、現代小説に新風を吹き込むことを目的として、創設された文学賞です。同人雑誌、個人誌、単行本に発表された短編小説(注2)を対象としています。インターネット、電子書籍等、電子による発表作品は対象外です。

応募作品発表誌、作者の住所、所属する同人雑誌(注3) 作者の活動拠点(注4)の何れか一つが中部圏であれば誰でも応募できます。本人の応募はもちろんですが、同人雑誌の主宰者や代表の方、友人知人から応募していただくこともできます。お声を掛けていただくなど、多方面からより多くの作品を期待しています。(注1)中部圏
 〓愛知 三重、岐阜、滋賀、静岡、長野、福井、石川、富山(2)短編小説
 〓400字詰め原稿用紙換算150枚まで(3)所属する同人雑誌に必ずしも応募作品発表同人雑誌でなくても、作品発表等活动があればよい(4)作者の文学的活動拠点 〓文芸教室、通言行われている合評会の開催地等

■応募要項抜粋 (詳細は会報77号同封のチラシ) 規定…二〇一九年一月から二〇二〇年十二月の二年間に発行された書誌の作品で、連載作品は最終回がこの期間内。単行本の短編集は一作品を指定。応募は一人一作品。中部ペンクラブ会員外の応募者は二千元の出品料が必要。応募用紙…チラシ裏面又はHPあいちウエブ文学館から締切…二〇二一年一月十五日(当日必着のこと) 表彰…二〇二一年六月中部ペンクラブ総会、賞状と賞金 一〇万円及び中日新聞社賞状と盾(結果は四月下旬頃、本人と各新聞社に発表) 選考委員…清水良典 三田村博史 応募宛先…〒454-0006 名古屋市千種区柳堀町105 西尾典祐

○二人の言葉が対照的で会話が絶妙。臨場感があり、ユーモアとテンポの良さで読ませる。
 ○同衾しても性関係は持たず、それでも確かなつながりを感じているそんな恋もあるのだ。一連の

【次ページへ続く】